

議案第41号 令和8年度守口市一般会計補正予算（第3号）

ご報告申し上げます。

本委員会が付託を受けました所管費目の補正内容は、各種競技種目を対象とした総合スポーツ大会について、新たに市主催で開催するための費用、市内で活動するスポーツ団体に対してスポーツ振興補助金を交付するための費用、新たな同報系防災行政無線を整備するための実施設計に係る費用、カーボンニュートラル推進事業に係る費用などが主なものであります。

本委員会といたしまして審査を行いました結果、スポーツ振興補助金について、当該補助金は令和7年2月定例会において不適正な支出実態等が明らかとなったスポーツ関係団体補助金を抜本的に見直すものであり、見直しに当たっては、制定予定の補助金交付要綱において、政治活動の禁止等による交付団体の適格性や対象経費のチェック体制を厳格化することで補助金の透明化を図るとのことである。

しかしながら、交付予定団体は、これまでスポーツ関係団体補助金の交付を受けていた団体が主となることが想定されるということであり、補助申請された事業経費を要綱に基づき事後的にチェックするという従前と同様の仕組みでは、これまでの議会の指摘を踏まえたうえでの再発防止を図る真に抜本的な見直しとなっておらず、政治的中立性の疑義など、これまでと同様の問題が発生しないとは言えないのではないかと指摘がなされました。このため、社会教

育やスポーツ振興を図るうえでも重要である政治的中立性の観点から、例えば、いわゆる政治家が交付対象団体の役員を務めてはならないこと、また、政治的中立性を担保したうえで同様の問題を未然に防止する方策を要綱上明記するなど、明確化すべきであると問いただしたところ、その懸念を払拭する具体的な方策は示されなかったところである。一方で、今回の理事者による見直しについては、特に問題ないとの意見も出されたところであります。

このような議論を経まして、市長から、委員会での指摘を踏まえ、改めて政治的中立性を厳格に担保する方策を検討する時間をいただきたいとの発言があり、先ほど承認議決がなされました、スポーツ振興補助金及び総合スポーツ大会に関する費用を減額する修正案が理事者から提出されたわけであります。

本委員会は、当該費用を減額した修正案の提出を了としたうえで、引き続き修正原案について審査を行いました結果、カーボンニュートラル推進事業については、脱炭素関連の取組を推進するセミナーに参加した中小事業者のうち選定された企業へのエネルギー削減診断、脱炭素事業の個別支援、削減の効果測定といった複数年にわたる事業であることから、市として、選定業者の状況や効果測定の結果を見極めながら、環境保全に向け実効性のある事業となるよう取り組まれたいとの希望意見を付し、満場一致をもって、これを修正原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

以上、委員長報告といたします。